



令和元年8月1日

本学と東広島市との共同提案が「2019年度科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」に採択

文部科学省の支援施策である「2019年度科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」の支援対象地域の選考結果が7月31日に発表され、広島大学と東広島市が共同提案した「アカデミック・エンタープライズが駆動するサステナブル・ユニヴァーシティ・タウン構想」が採択されました。

「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」は、地方自治体と地域の大学が中心となってチームを構成し、「地域のポテンシャルを最大限引き出すための未来社会ビジョン」を設定するとともに、当該ビジョン達成に向けて、「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成にも繋がる、解決すべき地域が抱える多種多様な社会課題を見つけ出す。さらに、当該社会課題を技術課題へと転換させ、将来的に地域内外の大学や研究機関が持つ研究シーズを取り込みつつ、小規模試行実験・社会実装の取組へ繋げることを想定し、科学技術イノベーション（=STI）を活用した解決策を構築する政策です。

提案の構想は、10年後のビジョンとして、

- ・広島大学の「アカデミック・エンタープライズ」を駆動しながら、本学の新しい平和科学の理念である「持続可能な発展を導く科学」を創生・展開・街づくりに活用すること。
- ・東広島市の総合計画やそのインターカルチュラル・シティ構想を、民の知見も生かしながら戦略的に推進することで、世界の若者や起業家に選ばれる環境を構築・展開すること。

この2つを両輪として当該地域がグローバルな頭脳循環のハブとなり、人口増と民主導の活性化を達成しながら、将来的に日本のロールモデルのひとつとなりうる「サステナブル・ユニヴァーシティ・タウン」を創りあげることです。

このため、段階的に得られるコミットメントの拡大を通じて、未来ビジョン達成への道筋を明らかにするとともに、新たな価値の創造を目指す。あわせて、東広島において、広島大学を中心とした世界標準での起業教育、インキュベーション支援機能の飛躍的な拡充を通して、地域の資源、地域のステークホルダーと連携して、地域課題を克服しながらイノベーションを起こし、SDGsの目標達成の実現を目指すこととしております。

なお、全国で45件の申請があり本提案を含め4件が採択されました。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/chiiki/design-i/1418037.htm

【お問い合わせ先】

（全体・広島大学に関すること）
大学院国際協力研究科 教授 金子慎治
Tel : 082-424-6916
E-mail : kshinji@hiroshima-u.ac.jp

（市に関わること）
東広島市政策企画部政策推進監 栗栖真一
Tel : 082-420-0917
E-mail : hgh200917@city.higashihiroshima.lg.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）